
リトルバスターズ×遊戯王

朱鳳鈴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

リトルバスターズ×遊戯王

【Nコード】

N7706Z

【作者名】

朱鳳鈴

【あらすじ】

僕は、いつまでこの流れに乗ればいいのか？

死ぬまで？それとも遊戯王世界大会で優勝するまで？それともあと知れず幻想郷へ行くまで？

まあどこにでもいい、そうどこにだって、今この状況をどうにかできるならどこにだって僕には、もう世界なんてどうでもいいものになったのだから・・・。

第0話 転生者？（前書き）

あなたは人間ですか？

いいえ、転生者です。

あと、バカです。

第0話 転生者？

アナウンサー「FC大会決勝戦の幕開けだあ」
スタンディングデュエル

観客「うわ~~~~~」

ざわざわざわざわ

アナウンサー「まずは、前大会優勝者不動遊星の登場だあ」

観客「うわ~~~~~」

ざわざわざわざわ

遊星「……………。それじゃ行ってくる。皆」

チーム5Dの人たち「おう。」「頑張ってください」「がんばれー
遊星」

アナウンサー「対しますは、全大会2位と3位のクロウボーガンと
ジャックアトラスを奇跡の逆転で勝利し、今大会初の参加者でもあ
り、ついたあだ名は”奇跡の魔術師”霧雨葵さんだあ」

葵（あの人が、不動遊星さんか、アニメで見るよりすごい本当に蟹
ヘッドだなあ）

遊星「いいデュエルをしよう」

葵「はい、よろしく願います」

アナウンサー「さて両者、デッキをシャッフルし終わりました。そ

れではFC大会決勝戦デユエ~~~~ル開始~~~~」

遊星「先行は挑戦者の君からだ」

葵「はい、僕のターンドロ」

第0話 転生者？（前書き）

言い忘れましたが、今回の物語は、走馬灯みたいなものです。そのため、意味が分からないこともあります。

第0話 転生者？

葵「はい、僕のターンドロー」

(緊張するーでもいつも道理やれば)

「僕は、モンスターセットしてターンエンド」

(どうせ最初のターンだ。遊星さんのデッキはもうわかっている。でもあの人のことだ1ターン目からあのモンスターを出すに決まってる)

葵 手札5枚 LP4000

遊星「俺のターンドロー。」

俺は、「スピードウォリアー」を召喚「

スピードウォリアー

効果モンスター

星2/風属性/戦士族/攻 900/守 400

遊星の場に、戦士族モンスターというより機械族モンスターに近いモンスターが召喚された」

葵(やはり1ターン目は、そのモンスターですか。アニメ道理だあ
〜)

遊星「バトル。」スピードウォリアー」でセットモンスターに攻撃！

この瞬間”スピードウォリアー”の効果発動召喚したターンのバトルフェイズ中このモンスターの攻撃力は2倍となる。よって攻撃力は1800だ。

いけ、”スピードウォリアー” ソニックエッジ！！”

葵（リバーズ効果に気にせずきますか。でもその程度は読んでました。）

「僕のセットモンスターは、”見習い魔術師” その守備力は800です。」

よってこのモンスターは戦闘破壊ですが、この瞬間に先ほど破壊された”見習い魔術師”の効果発動デッキから 2以下の魔法使いモンスターをセットします。

これにより僕は、2体目の”見習い魔術師”をセットさせてもらいます」

見習い魔術師

効果モンスター

星2 / 闇属性 / 魔法使い族 / 攻 400 / 守 800

遊星「俺は、カードを2枚伏せターンエンド」

遊星 手札3枚 LP4000

葵「僕のターン、ドロー。」

（僕の記憶違いじゃなきゃ遊星さんのデッキに単体除去系の罠つまり”次元幽閉”や”炸裂装甲”みたいなカードないはずでもさすがに、”ブラックホール”や”激流葬”、”聖なるバリアーミラーフォース”ぐらいは警戒しないといけないよね。）

「僕は、”サイレントマジシャンLv4”を召喚します」

葵の場に白服の女の子が登場した。うんやっぱかわいいよね。

サイレントマジシャンLv4

効果モンスター

星4 / 光属性 / 魔法使い族 / 攻1000 / 守1000

葵「さらに、僕はセットモンスター”見習い魔術師”を反転召喚します。その時この子の効果が発動、自分フィールド上の魔力カウンスターが乗るモンスターに魔力カウンターを乗せます。

これにより”サイレントマジシャン”に魔力カウンターを1つ載せます。そして魔力カウンターが乗ったとき”サイレントマジシャン”の効果も発動このモンスターは魔力カウンター1個につき攻撃力を500ポイントあげます。この子の今の攻撃力は1500です」

この二つの効果が発動したとき、”見習い魔術師”は、”サイレントマジシャンLv4”の肩に杖を乗せ呪文を唱えた。で、一方の”サイレントマジシャンLv4”は少し成長した。

葵「僕は、このままバトルフェイズに入ります。まず”サイレントマジシャン”で”スピードウォリアー”に攻撃します。

沈黙の魔弾（サイレントマジックLv4・5）」

遊星「くっ!!」

サイレントマジシャンLv4 ATK1500 VS スピード

ウォリアー ATK900

1500 - 900 = 600

遊星 LP4000 - 600 = 3400

アナウンサー「なんとー遊星が最初にダメージを受けたー」

葵「よし、先制ダメージゲット・・・ノーダメージだけは防げたホントに良かった遊星さん相手にならノーダメージとかありえたからこわかったんだよねあゝ・・・」
「ってまだ油断はできないか」

「さらに、”見習い魔術師”でダイレクトアタック!!」

遊星「その攻撃は、通させない。リバースカードオープン罠カード”エンジェルリフト”発動。このカードは墓地から2以下のモンスター1体を場に特殊召喚するカード、よって効果で、さつき破壊された”スピードウォリアー”を召喚する」

葵「蘇生系罠カードでしたか、どうするここで”見習い魔術師”で攻撃して新たなモンスターをセットするか、しないか?・・・ダメージが少ないほうにかけるか」

「僕は、攻撃を中断せず、出てきたモンスターに攻撃します」

見習い魔術師 ATK400 VS スピードウォリアー ATK
900
400 - 900 = -500
葵 LP4000 - 500 = 3500

葵「そして、”見習い魔術師”が戦闘破壊されたので効果発動し、デッキから3枚目の”見習い魔術師”をセットします。
メインフェイズ2に移り、カードを2枚伏せターンエンドです」

葵 手札3枚 LP3500

遊星「俺のターン、ドロー」

葵「この時”サイレントマジシャン”の効果発動です。相手がドロ
ーしたときこのモンスターにカウンターを1つ載せます。
そして、このモンスターにはカウンターが2個になり攻撃力は20
00ポイントです」

遊星「なるほど、そのモンスターはこつちがドローすることに魔力
カウンターが乗るか……。俺は手札から魔法カード”ワンフォー
ワン”を発動。この効果で手札のモンスター1枚を切りデッキから
1のモンスターを特殊召喚する。俺は手札のモンスターを1枚切
ってデッキから”チューニングサポーター”を守備表示で特殊召喚
！」

チューニングサポーター

効果モンスター

星1 / 光属性 / 機械族 / 攻 1000 / 守 300

遊星「手札から”ジャンクシンクロン”を召喚、そして効果発動、
墓地に存在する 2 以下のもんすたーを1体蘇生しるこの時そのモ
ンスターの効果は無効となる。

よって俺はさつき捨てた”ポルトヘッジホッグ”を守備表示で特殊
召喚」

ジャンクシンクロン

チューナー（効果モンスター）

星3 / 闇属性 / 戦士族 / 攻 1300 / 守 500

ポルトヘッジホッグ

効果モンスター

星2 / 地属性 / 機械族 / 攻 800 / 守 800

遊星「俺は、”チューニングサポーター”に”ジャンクシンクロン”をチューニングこの時、”チューニングサポーター”の効果発動このモンスターはシンクロ召喚に使用する際、星を2として扱うことができる！」

よって”サポーター”の星を2とする。行くぞ」

すると遊星の場のモンスター1体が輪になり、もう片方の周りを回遊し始めた。そして急に閃光があらわれ・・・

葵（来る、遊星さんの相棒カードが）

遊星「集いし星が新たな力を呼び起こす。光さす道となれ！シンクロ召喚！いでよ、”ジャンク・ウォリアー”！」

その閃光の中からこれでも戦士族といえるのか？というモンスターが現れた

アナウンサー「来たー、遊星の第1の切り札”ジャンクウォリアー”がとうじょうだあ〜」

ジャンクウォリアー

シンクロ・効果モンスター

星5 / 闇属性 / 戦士族 / 攻2300 / 守1300

遊星「”ジャンクウォリアー”がシンクロ召喚に成功した時、効果発動！自分フィールド上の2以下のモンスターの攻撃力分だけ攻撃力がアップする！パワー・オブ・フェローズ

さらにこの効果に俺はチェインするが何かあるか？」

葵「何もないです」

(まさか、あのカードか・・・)

遊星「なら墓地に送られた。”サポーター”の効果発動、このモンスターがシンクロ召喚に使用されたときガードを1枚ドロウする効果が発動。さらに、リバーズカードオープン罫カード”星蝕レベルクライム”を発動する。このカードはシンクロモンスターが召喚された時発動し、そのモンスターの星のレベルにし攻守0のトークンが出てき、そのモンスターも星を1にする」

葵(ですよね)

遊星「チェーン処理だ！まず、”レベルクライム”で”ジャンクウオリアー”のを1にする。そしてトークンを守備表示で特殊召喚！」

星蝕トークン

魔法使い族・闇・星X・攻/守0

遊星「次の効果”サポーター”の効果で、1ドロウ、”ジャンクウオリアー”の効果これにより”ジャンクウオリアー”の攻撃力は6300になる」

葵「攻撃力が6300ですか・・・。ですが、遊星さんあなたはカードをドロウしたため”サイレントマジシャン”の効果でカウンターが1つ乗ります。よって攻撃力は、2500です」

遊星「だが、攻撃力はこっちのほうが上だ。バトル、”ジャンクウオリアー”で”サイレントマジシャンLv4”に攻撃 スクラップ・フィスト !!!」

アナウンサー「この攻撃が決まればー遊星の勝ちだあ、葵選手はどう出る？」

葵「ふふ、そう来なくちゃ面白くありません。僕は……」

葵は、不敵に笑いながら、サイレントマジシャンの戦闘破壊を見送った……。

第0話 転生者？（後書き）

さて、とりあえずこんな終わり方をしてみた。

すこしは小説ぽくなっただろうか？

あと、もしかしたら、チエーンの順番がおかしいかもしれません。

次回

葵は、どのように、遊星の攻撃をかくぐるのか？

にしてもクリスマスは暇だったぜ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7706z/>

リトルバスターズ×遊戯王

2011年12月26日01時49分発行